

# インマヌエル中目黒キリスト教会 2016年12月4日聖日礼拝

---

アドベント第2聖日礼拝

「誓いを覚え給う主」

ルカの福音書

1章67節～79節

竿代照夫牧師

# 聖書朗読 新約聖書

## ルカの福音書 1章67節～79節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会)を使用しています  
第二版の聖書は 99 ページ  
第三版の聖書は 108 ページ

67 さて父ザカリヤは、聖霊に満たされて、  
預言して言った。

68 「ほめたたえよ。イスラエルの神である主を。主はその民を顧みて、贖いをなし、

69 救いの角を、われらのために、しもベ  
ダビデの家に立てられた。

70 古くから、その聖なる預言者たちの口  
を通して、主が話してくださったとおりに。

71 この救いはわれらの敵からの、すべてわれらを憎む者の手からの救いである。

72 主はわれらの父祖たちにあわれみを施し、その聖なる契約を、

73 われらの父アブラハムに誓われた誓いを覚えて、

74 75 われらを敵の手から救い出し、われらの生涯のすべての日に、きよく、正しく、恐れなく、主の御前に仕えることを許される。

76 幼子よ。あなたもまた、いと高き方の  
預言者と呼ばれよう。主の御前に先立っ  
て行き、その道を備え、

77 神の民に、罪の赦しによる救いの知識  
を与えるためである。

78 これはわれらの神の深いあわれみによ  
る。そのあわれみにより、日の出がいと  
高き所からわれらを訪れ、

79 暗黒と死の陰にすわる者たちを照らし、  
われらの足を平和の道に導く。」

# 説教

アドベント第2聖日

「誓いを覚え給う主」

ルカの福音書

1章67節～79節

竿代照夫牧師

## 主テキスト

「主はわれらの父祖たちにあわれみを施し、その聖なる契約を、われらの父アブラハムに誓われた誓いを覚えて・・・」

(ルカ 1 : 72、73)

# はじめに：ザカリヤの賛歌に「神の約束の成就」としてのクリスマスを見る

## 1．賛歌の背景

- ・メシヤ待望の人々  
外国による過酷な支配がメシヤ待望を生み出した
- ・祭司ザカリヤ  
正しい人ザカリヤの悩みは、妻の不妊  
(5～7節)



# 1 . 賛歌の背景

- 神殿での奉仕  
一生に一度の晴れ舞台(8-9節)
- 天使のみ告げ  
エリサベツの懐妊とメシヤの先駆者誕生  
(11-17節)
- 不信仰の反応  
み言葉への不信仰を叱られ、口が利けず  
(13-29節)
- ヨハネの誕生と命名：生まれた男子は  
ヨハネと命名された(57,63-64節)

2 . 賛歌のテーマは「神の救い」  
メシヤによって与えられる救いは、

- ・ 敵からの救い（ 7 1、 7 4 節 ）
- ・ 恐れからの救い（ 7 5 節 ）
- ・ 豊かな人生への救い（ 7 5 節 ）

### 3 . 賛歌の根底にある神の憐み

- ・ 「憐み」とは「契約の愛、忠実な愛」

旧約のケセド

たとひ契約の相手が不誠実であっても、  
誠実に寛容を示される神の愛・忠実さ、  
に符合

## 4 . 賛歌の対象は誓いを覚え給う主 先祖たちへの誓い（約束）の例

- ・ アダムとエバへの約束：原初福音(創世記3章)
- ・ アブラハムへの約束  
世界的祝福（創世記12章、22章）
- ・ ダビデへの約束（2サムエル7章）永遠の王国
- ・ イザヤへの約束（イザヤ9章）「平和の王」
- ・ エゼキエルへの約束(エゼキエル34章)真実な牧者
- ・ マラキへの約束：「義の太陽」（マラキ4章）

自分たちは忘れ去られたかという思いを  
打ち破って、神は「訪問してくださった」

おわりに

約束を忘れない  
真実な神と  
真実に  
向き合おう

私たちも、神の憐み、  
恵みに頼り、感謝しよう